

令和 7 年 7 月 14 日

市川市教育委員会

教育長 高木 秀人 様

市川市教育振興審議会

会 長 天 望 茂

令和 6 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び
執行の状況についての点検及び評価について（答申）

令和 7 年 7 月 7 日付けで市川市教育振興審議会に諮問のあった標記の件に
ついて、当審議会において審議した結果、下記のとおり答申いたします。

記

教育委員会が行った点検及び評価は妥当である。

1 審議経過

当審議会は、令和 7 年 7 月 7 日、教育委員会から「令和 6 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価について」諮問を受けた。

この諮問は、教育委員会が地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 1 項の規定に基づく令和 6 年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行うに当たり、同条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、教育委員会が行った点検及び評価について、当審議会の意見を求めたものである。

点検及び評価については、教育基本法第 17 条第 2 項の規定に基づき定めた市川市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画である「第 4 期市川市教育振興基本計画」（令和 6 年 1 月策定）が示す施策を対象としたものである。

当審議会における調査審議は、「点検・評価報告書（案）」に記載された施策の評価を基に、教育委員会が行った点検及び評価が妥当であるか否かを調査審議するとともに、今後の施策の推進に向けた提言を取りまとめることとした。

そして、本日、本答申書のとおり答申するに至ったものである。

2 今後の施策の推進に向けた提言

点検評価の結果を踏まえ、教育委員会として施策に対する今後の方向性を報告書の中で示されたい。

また、施策の取組について、以下のとおり提言する。

- (1) 読書活動を充実させるためには、家庭及び地域の役割も重要であることから、家庭・地域における読書活動の周知や支援等に取り組まれたい。
- (2) ヘルシースクールの推進に当たり、学校の特色づくりや市民への周知の観点から、教育委員会が主体となり取組を進められたい。
- (3) ICTの活用を推進するため、必要なICT環境の整備を行うとともに、教職員のICT活用指導力向上のための実態に即した支援に取り組まれたい。
- (4) 働き方改革を推進するため、学校の支援体制の充実やICTの導入、業務改善など、様々な取組について広い視野を持ちながら多角的に進められたい。
- (5) 誰一人取り残さない教育の実現に当たり、児童生徒の心身の安全安心を確保するためのいじめ対策を講じるとともに、不登校の児童生徒数が増加傾向にあり、喫緊の課題となっている不登校児童生徒支援の充実を図られたい。

なお、施策の評価に当たり、事業の設定や成果指標の内容など、適切な評価につながるよう評価方法を検討されたい。

以上

市川市教育振興審議会

会 長	天 竺	茂
副会長	川 俣	興一
委 員	田 中	孝一
委 員	柳 澤	幸江
委 員	五十嵐	祐子
委 員	仲 川	貴子
委 員	利 根 川	聡
委 員	宮 武	かづら
委 員	神 野	和江
委 員	山 口	好子